

以下、本文-----

ERCP 後膵炎の予測因子としての ERCP3 時間後血清 AMY,P 型 AMY,リパーゼ値の測定意義  
についての検討

## 1. 研究の対象

2017 年 5 月から 2020 年 3 月までの当施設で実施した術後再建腸管症例および胆石性膵炎症  
例を除外した初回 ERCP を受けた方。

## 2. 研究目的・方法

ERCP 関連偶発症の一つである ERCP 後膵炎 (PEP) は時に重篤化するため早期診断および治  
療介入が必要である。検査後膵酵素上昇が診断指針の一つとされている。しかし、膵酵素それぞ  
れの明確な cut off 値は存在してない。今回 ERCP3 時間後血清 AMY,P 型 AMY,リパーゼ値を測定  
し PEP の早期診断の予測因子になりうるかどうか検討します。

方法としては過去の診療記録を用いて後ろ向きに検討します。

研究期間に関しては、2015 年 3 月～2020 年 3 月とします。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液検査結果、CT 画像検査結果、副作用等の発生状況、等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理  
人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出  
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：岐阜県立多治見病院 消化器内科 主任医師 羽根田 賢一

岐阜県立多治見病院 消化器内科

〒507-8522 岐阜県多治見市前畑町 5-161

連絡先：TEL 0572-22-5311 FAX 0572-25-1246

-----以上